

(4)堤体継目ボーリング調査

横継目および水平打継目の状況を直接的に把握することを目的として、堤体継目ボーリング調査を実施した。調査状況を表 2.3 に示す。また、ボーリングコアの例を写真 2.3～4 に示す。ボーリング調査により以下の事項が判明した。

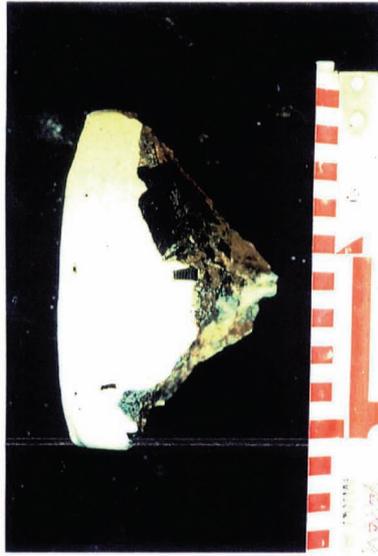
- ・ 堤体下流面に漏水が発生する水平打継目地点では、打継目は分離しており、上流面付近では介在物を挟在する。
- ・ 堤体下流面に漏水が発生していない水平打継目地点では、打継目は密着している。
- ・ 漏水が多い横継目地点（J-9）に向けてボーリングを行った結果、横継目には比較的密実にグラウトミルクが充填されている。

表 2.3 堤体継目ボーリング調査一覧表

孔名	方 向	位 置		掘進長	備 考
		ブロック	標高		
B-1	水平 (上流面→下流面、 右岸側に 45°)	10BL (9BL から 1.90m)	EL468m 水平打継目	3.0m	<下流面氷柱発生箇所> ・打継目は分離し介在物を有する。 ・横継目にはグラウトミルク充填
B-2	水平 (上流面→下流面)	10BL (9BL から 7.5m)	EL468m 水平打継目	3.0m	<下流面氷柱発生箇所> ・打横継目は分離し介在物を有する。
B-3	水平 (上流面→下流面)	7BL (8BL から 8.0m)	EL468m 水平打継目	2.0m	<下流面良好箇所> ・横継目は密着
No.1	水平 (上流面→下流面)	9,10BL 間の横継目	EL472m 横継目	0.4m	<下流面鉄さび発生箇所> ・横継目は分離し茶褐色化
No.2	水平 (上流面→下流面)	9,10BL 間の横継目	EL472.45m 横継目	0.42m	(下流面鉄さび発生箇所) ・横継目は分離し茶褐色化
No.3	水平 (上流面→下流面)	10BL (9BL から 0.85m)	EL472m 水平打継目	0.36m	<下流面鉄さび発生箇所> ・打継目は分離し介在物を有する。
B13-1	水平 (下流面→上流面)	7BL (6BL から 6.3m)	EL458m 水平打継目	1.0m	<下流面良好箇所> ・打継目は密着。
B13-2	水平 (下流面→上流面)	7BL (6BL から 14.5m)	EL458m 水平打継目	2.0m	<過去に漏水が発生した地点> ・打継目は分離するが介在物はない。
計	-	-	-	12.18m	-



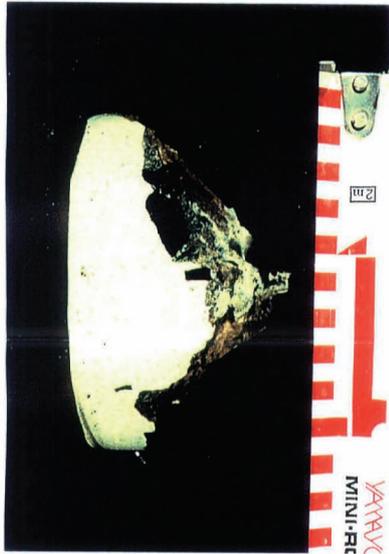
No.2 コア先端に付着した粘着物



No.2 エポキシとコンクリートの接合面



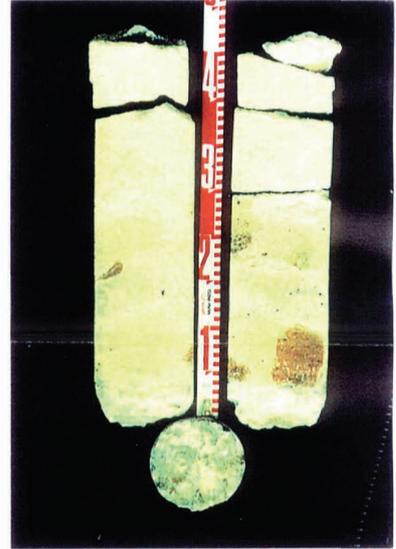
No.8 水平打ち継ぎ目、エポキシ背面の劣化状況



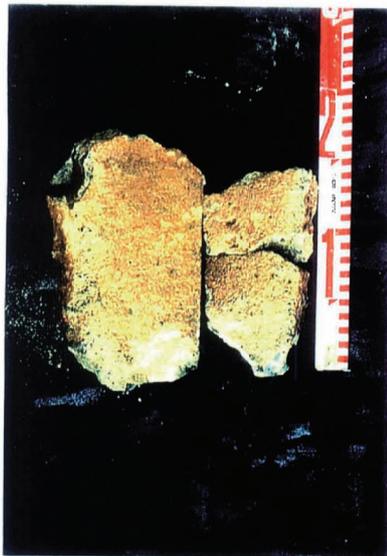
No.1 エポキシとコンクリートの接合面



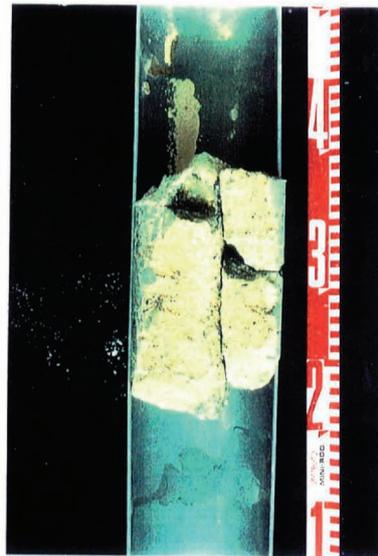
No.2 横継ぎ目に見える流れ模様



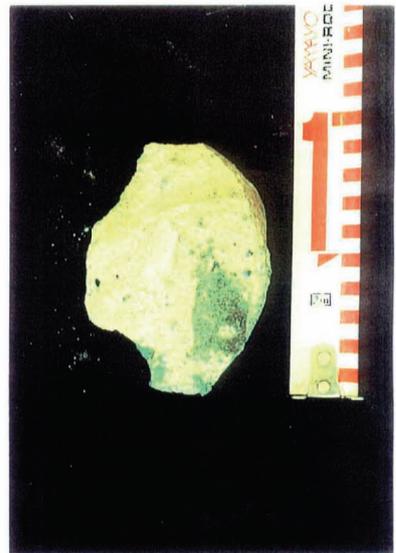
No.2 横継ぎ目全景



No.1 横継ぎ目の劣化状況

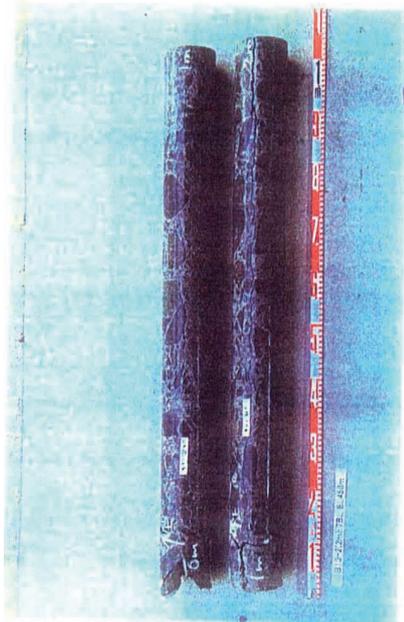


No.1 水平打ち継ぎ目の劣化状況



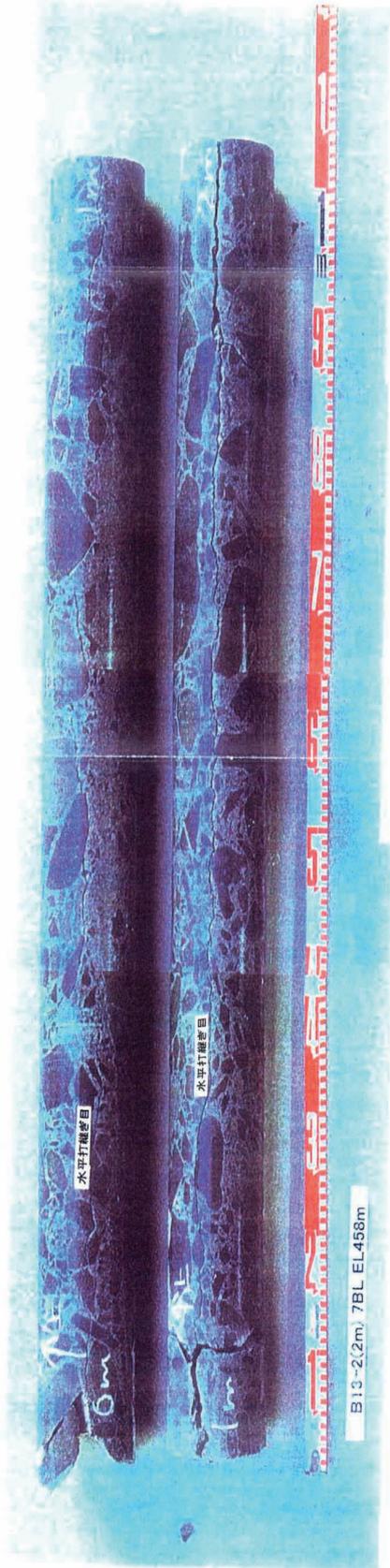
No.1 コア先端に付着した粘着物

写真 2.3 堤体継目ボーリング調査 コア例 No.1 No.2 No.3

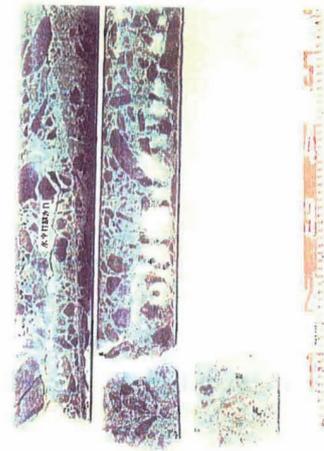


B13-2孔: 7BL(J6+14.5m)、EL458m
 <コア状況>

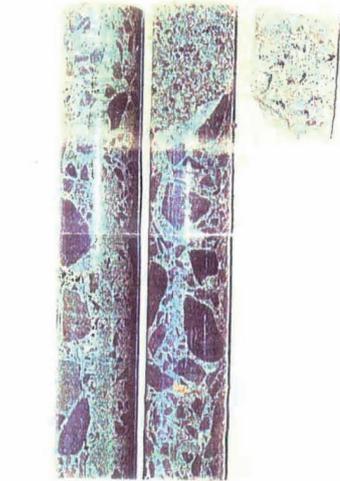
堤体コンクリートは全区間において堅硬である。
 水平打継目の位置は容易に判別することが出来る。掘進長2mのほぼ全区間にわたり開口し
 ている。ただし、継目に挟在物はなく新鮮色を呈している。



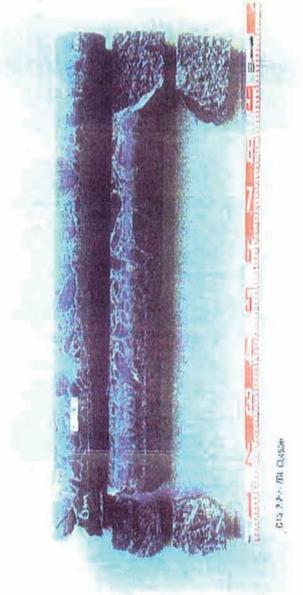
B13-2(2m) 7BL EL458m



B13-2(2m) 7BL EL458m



B13-2(2m) 7BL EL458m



B13-2(2m) 7BL EL458m

写真 2.4 堤体継目ボーリング調査 コア例 B13-2